

冬タイヤ交換を前に 大型車、「左後輪」の脱落に注意を その理由は 原因はホイールのボルト、ナットの締め付け不良 などの…作業ミスが91%

大型車の車輪が脱落した事故のうち、8割以上が「左後輪」に集中していたことが国土交通省のまとめで分かった。

原因は、ホイールのボルト、ナットの締め付け不良などの作業ミスが91%を占めた。

脱落したのは「左後輪」が56件（83%）と集中。

「右後輪」の10件と比べ際立っている。

同省は原因について、自動車メーカーなどの見解を聞きながら調査中とした上で、

- (1) 右折時は比較的高い速度のまま旋回し、遠心力で積み荷の荷重が左輪に大きく働く
- (2) 左折時は、低速度だが左後輪がほとんど回転しない状態で旋回し、回転方向に対して垂直にタイヤがよじれるように力が働く、
- (3) 道路は中心部が高く作られている場合が多く、車両が左に傾き、左輪に大きな荷重がかかる——と推定している。

前輪は右が1件、左がゼロだった。

前輪は、「異常が発生した場合、ハンドルの振動などで運転手が気付きやすいため」とみている。

事故は37件（55.2%）が北海道など積雪地域で起き、11月～3月に56件（84%）と、冬期に集中していた。

冬用タイヤの交換がピークを迎えるのを前に、同省は大型車ユーザーらに注意を呼び掛けている。